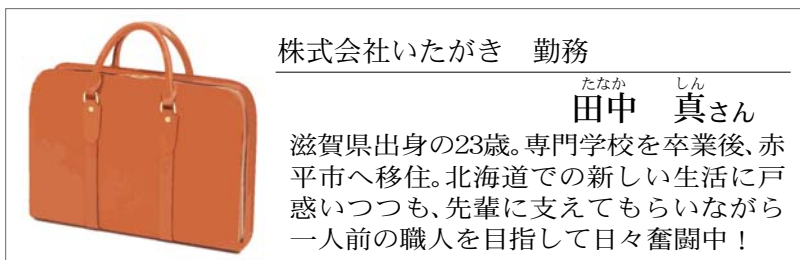




『住民の顔が見える広報』を目指し、地域おこし協力隊が
まちに飛び出て市民の皆さんをクローズアップ!!

第5回目は、鞆のいたがきにお勤めの田中 真さん。
「ものづくりがしたい！」そんな熱い思いから単身滋賀県からあか
びらに飛び込んだ田中さん。
ものづくりにかける想いに迫ります！



株式会社いたがき 勤務

たなか しん
田中 真さん

滋賀県出身の23歳。専門学校を卒業後、赤平市へ移住。北海道での新しい生活に戸惑いつつも、先輩に支えてもらいながら一人前の職人を目指して日々奮闘中！



あかびらにきた
きっかけは？

就職を機に、あかびらに came した。専門学校では主にデザイン
の勉強をしていて、卒業後は
ものづくりの仕事をしたと考
えていました。

そんなときに、「いたがき京都
店」の販売員の募集を知って応
募しました。選考の過程でもの
づくりへの考えや学生のとこと
につくった作品を見て頂いたとこ
ろ、人事の方に「北海道の本社に
来ない？」と声をかけて頂きま
した。北海道で就職すると聞い
て、両親も最初はとても驚いて
いましたが、快く送り出してく
れました。



仕事には
慣れましたか？

いえない全然！いたがきにお
世話になって1年ちよつと経ち
ましたが、なかなか慣れません
ね。伸縮する天然素材の革を生
かすため、つくり手が臨機変
に考えて作業しなければなら
ないので、先輩と比べて時間がか
かってしまうのが現状です。そ
れでも、前よりも上手く綺麗に
製品がつくれたりすると嬉しく
て、もっと頑張ろうと思います。



ものづくりの
魅力って？

自分が手がけた商品が売られる
ことですかね。『自分がつくった
！』という誇りとともに、その商
品をお客様が喜んで使ってくれ
ることが僕にとっても喜びにな
ります。今は、キーホルダーや鞆
のハンドルの製作をしています
が、いつかひとつの製品を最初
から最後まで自分の手で作っ
てみたいですね！



北海道の生活にも
慣れましたか？

想像していたよりもはるかに
寒くて驚きましたね。夏は若木
町の自宅から会社までを自転車
で通勤していますが、冬は基本
的に歩いて出勤します。猛吹雪
のなか出勤したときは、凍って
しまっただけじゃなく思いま
した(笑)。今年で2回目を迎え
る冬には、昨年経験できなかった
スキーやスノーボードに挑戦
して、北海道の冬を満喫してみ
ようと思っています。

家顔！
編集後記

地域おこし協力隊 まちの情報発信部門
愛知県出身 野口 暢子

あかびらに来て、ずっとやりたかった
ことのひとつに「赤平火太鼓」があり
ます。先日初めて体験させていただきました！むむ難しい。。。筋肉痛との戦
いでした(笑)。いつか皆さんの前で
発表する機会があったら・・・いいな♪

「北海道の方言も日々勉強ですね」と
笑って話す田中さん。接客をするとき
には、訛りやイントネーションですぐ北
海道出身でないかとバレてしまうそう。

穏やかな表情の田中さんも、作業
が始まれば表情は一変。真剣な表
情で製品と向き合っている姿が印
象的でした。